



NPO 法人

ひろしま人と樹の会

会報 No. 270

□理事長 荒川 純太郎

□事務局 〒733 - 0852 広島市西区鈴が峰町 16 - 20 (中元明弘)

Tel&fax 082 - 277 - 9490 E-mail: hirosimahitotokinokai@yahoo.co.jp

□年会費 2,000 円 郵便振替 01360-4-29388 「ひろしま人と樹の会」

□編集責任者 古川ちひろ

本号の内容

<セミナーのご案内>

1. 番外編 (ちらし掲載)
「ひろしま里山未来博」記念植樹祭
(8/11: 金・祝日)
県立もみのき森林公園
2. 番外編現場セミナー
竹林の整備パートⅡ ご案内
(9/8: 金~9/11: 月)
東広島市西条町福本

<セミナー等の報告>

1. 番外編現場セミナー
千里の森手入れ
(7/15: 日)
尾道市山波町
2. 番外編現場セミナー
竹林整備
(7/7: 金~7/10: 月)
東広島市西条町福本

<特別企画>

西中国山地の植物:
第 74 回 アキグミ (グミ科グミ属)

<事務局からのお知らせ>

◆セミナーのご案内◆

1. 番外編 (ちらし掲載) 「ひろしま里山未来博」記念植樹祭 (8/11: 金・祝日) 県立もみのき森林公園

中山間地域を対象に 3 月から開催されている
「ひろしま里山未来博」を記念する植樹祭です。

里山の営みや豊かな自然に光を当て、植栽を通して魅力を発信させます。

自らの手で植えて育てよう・山の恩恵を見つめ
直そう・里山に対する理解を深めよう

「一人 1 本のオーナー苗として植栽します」里
山や森の大切さを理解し行動する人の輪を広げま
しょう。皆さんの参加をお待ちしています。

※詳細は次頁のチラシをご覧ください。



里山に親しみ恩恵に感謝する

『ひろしま里山未来博』記念植樹祭

公益社団法人国土緑化推進機構の緑の募金から支援を受けています。

参加者
募集

2017 年 8 月 11 日 (金: 祝日) (雨天決行)

1. ねらい

中山間地域を対象に3月から開催されている「ひろしま里山未来博」を記念する植樹祭です。
 里山の営みや豊かな自然に光を当て、植樹を通して魅力を発信させます。
 自らの手で植えて育てよう・山の恩恵を見つめ直そう・里山に対する理解を深めよう。
 「一人1本のオーナー苗として植樹します」里山や森の大切さを理解し行動する人の輪を広げましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

2. 開催場所

廿日市市吉和「県立もみのき森林公園内」(TEL 0829-77-2011)
 集合場所: ①無料バス利用の方は広島県庁北館市民病院側(8:10)
 ②JR宮内串戸駅前(8:20)
 ③現地集合の方はもみのき森林公園駐車場(9:30)

3. 植樹会場

・「小室井山」(標高1072m)に登山、山頂付近でレンゲツツジ植栽(一人1本植栽)
 (なお、お子様連れのご家族など体力に応じて、麓での植樹を準備します。)

4. 持参物

登山のできる長袖、長ズボン、暑さ対策(飲み物、帽子、日傘、うちわ)
 虫よけスプレー、雨具などご用意下さい。

5. プログラム

9:30 受付	12:30 昼食
10:00 式典開会	13:30 小室井山下山開始
10:30 小室井山登山	15:00 下山閉会
11:40 植栽(レンゲツツジ)	

6. 式典会場 県立もみのき森林公園駐車場 10時から

7. 募集対象 植樹や里山に興味を持ち行動をするすべての方

8. 募集人員 200名(先着順)

9. 参加費 1,000円(弁当付き)

10. 申込期限 平成29年8月8日(木)事務局まで

メール: hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp、TEL&FAX 082-277-9490

11. 主催者 NPO法人ひろしま人と樹の会

(共催 一般財団法人もみのき森林公園協会、協力 佐伯森林組合)

植樹祭事務局 行

平成 29 年 8 月 11 日 植樹祭参加申込書 TEL&FAX 082-277-9490 携帯 090-7778-7771

名 前 (年齢)	性 別	住 所	バス利用の有無 何方かに○印を
	男・女	tel	①広島県庁バス利用 ②JR串戸駅バス利用 ③現地集合

2. 番外編現場セミナー 竹林の整備パートⅡ ご案内 (9/8:金～9/11:月) 東広島市西条町福本

竹林の所有者から依頼を受けて昨年から行っている竹林整備です。

この事業は。東広島市森づくり事業の助成金を受けて、地域住民との協働作業を通じて地域の活性化に寄与する取り組みです。

1 回目の竹林整備は7月7日から 10 日の4日間行いました。今回パートⅡとして残っている約 400 m²の竹林を伐採し、チップーシュレッダーでチップ化し堆肥にする作業を下記の通り計画しました。

性別年齢は問いません。それぞれに見合った作業があります。

多数の方の参加をお待ちしています。

1 日時

平成 29 年 9 月 8 日から 11 日 (4 日間)

9 時～15 時 (雨天中止)

2 場所

東広島市西城町福本 641-2

3 持参物

作業のできる服装、帽子、手袋、タオル、飲み物 (お持ちの方はヘルメット、チェーンソー、ナタ、ノコなど)

4 参加費

500 円 (トン汁など)

5 申し込み方法

9 月 1 日 (金) までに事務局 (中元) へ
NPO 法人ひろしま人と樹の会事務局行

NPO 法人ひろしま人と樹の会事務局行 竹林整備参加申込書 FAX082-277-9490 (中元)			
名前 (年齢)	住 所	連絡先 (電話)	参加する日○を付けてください
			7 日・8 日・9 日・ 10 日・11 日
			7 日・8 日・9 日・ 10 日・11 日

◆セミナー等の報告◆

1. 番外編現場セミナー 千里の森手入れ (7/15:日) 尾道市山波町

3年目に入った千里の森プロジェクト、今年も夏の作業がやってきました。「今年も暑い中の作業大丈夫かな。」と思いながら現地に到着。参加者は16人です。



【開会式の様子（高垣副知事あいさつ）】

作業前のミーティングを終え、草刈り班、ミカンの摘果班、炊事班に分かれて作業開始。

私は草刈り班で草刈り機を持ってまずはヒノキ林に入りました。林内とはいえ、間伐を行った後ということで下草が旺盛に生えていました。早速草刈り機をうならせながら草刈りを始めましたが、梅雨末期の高温多湿。その上足元は急斜面。たちまち吹き出す汗は到着時の予想をはるかに上回る厳しさでした。そのうち去年植えた苗木たちが目印のピンクのリボンの横に現れてきました。なんとか枯れずに残っているようですが、目印がないと草と一緒に刈り取ってしまいそうですので、熱さでぼーっとしているわけにはいきません。自分が怪我しないよう気を付けつつ、きちんと草も刈って、苗木は伐

らないように残すという過酷な草刈りでスタートしました。



【ヒノキ林の枝打ち】

林内が終わると今度は立木の無い炎天下の草刈りが待っていました。こちらはクズだらけで、刈っても刈ってもツルが絡んで効率はさらに悪化。その上クズの下にいきなりピンクの目印が現れた時には既に手遅れ。植えた苗木の上半分を刈り取るという始末。そもそも半分くらいはクズの下で枯れているのですが、それを刈ってしまうのは申し訳ない限りです。そんなこんなで午前中悪戦苦闘する中お昼を迎えました。



【チェーンソーでの間伐】

お昼は、恒例の豚汁でおしゃべりしながらお弁当です。皆さん日陰を求めて陣取り、体力回復の豚汁をいただきました。

午後は櫻井さんが、「今日は1時になっても誰も動き出さんな。」という声で「しょうがないやるか。」と皆さん腰を上げ作業スタートです。午後は間伐し残しているヒノキを伐れということで私は伐採にまわりました。伐倒方向はあっちが良いとかこっちが良いとかあれこれ皆さんと協議した後伐採に挑みました。とりあえず、ロープの助けも得ながら伐採方向は目指す通り倒せましたが、この日の作業の一番の厳しさはこの後に待っていました。枝払いと玉切りのしんどいこと。日中2時頃という一番暑い時間帯。もうよれよれ。そこに櫻井さんが、「2本目は45cmに玉切りして。薪にするから。」という鬼のような声。「ええー。」という思いを飲み込み頑張りましたが、いやー、疲れました。薪割、大変でしょうがよろしくお願いします。ここまでで、予定の字数を超えてしまいましたが、当日は、山主の高垣千里様も暑い中現地においでいただくとともに、千里様の御子息で、かつてヒノキを植えられた高垣博

徳様にはご夫婦で飲み物などを差し入れていただき、作業をアシストいただきました。また、千里の森プロジェクト会長の岡田様には摘果作業の御指導をいただくとともに、いつものおいしい桃をいただきました。特に今回は摘果したミカン（これがなんと予想をはるかに超えておいしいのです。）も「食べてみんさい。」と進めていただきました。厳しい1日の作業でしたが、地元の皆様との交流で非常に気持ちの良い楽しい1日を過ごさせていただくことが出来ました。帰って飲んだビールがいつにも増しておいしかったことと合わせて、お礼を申し上げます。

次回は秋にミカンの収穫作業です。今回おいでになっていない会員の皆様、秋にはぜひとも一緒に作業しましょう。楽しいですよ。（報告 神川勇人）



2. 番外編現場セミナー 竹林整備 (7/7:金~7/10:月) 東広島市西条町福本

7月の下旬、梅雨期で降水確率が60%以上の予報の中で4日間、竹林を伐採し、チップシュレッダー機で竹を粉碎しチップ化した。雨具を用意しての参加者は4日間で延べ34名。

昨年、実施した事業現場で残った竹林約1,000

m²の整備で伐採班とチップ班に分かれて作業した。

① 伐採班

この現場は、周囲に人家やハウス、電線等があり、これら対象物に支障の無いよう最善の注

意を払う必要がある。

まず、自分の安全を守るため、伐採班は、ヘルメット、チャプス、振動防止手袋、安全靴などの完全装備、腰には熱中対策の飲み物のスタイル、暑さ限界の服装。暑さが応える。

竹林は、高さが 15~17m、径が 7 cm~12 cm 程度で生育密度は 1 m²に平均 8 本の竹藪である。数年間手入れがされていなく枯れた竹が横たわり入る足場も無いほどの竹藪。人が入るスペースづくりの枯れた竹の整理から作業を進めた。



2 名から 3 名が一組になりチェーンソーや手ノコで伐採。竹をチェーンソーで伐る者、支ええる者、ロープを引く者 3 名のチームワークで安全に 1 本 1 本伐った。しかし、風が吹くと思わぬ方向に倒れるため「ロープ掛け」と「声掛け」を頻繁に行い安全に伐り倒した。

② チップ班

チップ化はチップーシュレッダー機 2 台（1 日目と 4 日目は 1 台）で処理した。伐採班が伐った竹を直径が約 6 cm 程度で区分し、6 cm 以上の太さの竹は竹炭や干し竿など多用途に使用するため数か所にまとめて竹積みした。6 cm 以下の竹はチップーシュレッダーで粉碎処理し堆肥にする。



チップ化は、チップーシュレッダー機のガーガーと竹を砕く大きな音と粉塵、耳栓や防塵防止マスク付けて行った。音と粉塵が舞う蒸し暑い環境の作業、チップーシュレッダー機まで竹を運ぶ人チップーシュレッダーの投入口に入れる人に分かれて交替で行った。



幸いにも 4 日間、各自の安全対策が功を奏し、暑さで倒れる者は出なかった。参加者の安全管理に感謝。

地元からは、「竹やぶが日陰を作り風通しが悪かった。陽が差し込み風通しもよくなり明るく快適な環境になった。また、落ち葉が屋根や側溝に積り取り除くのに大変であったが苦労もなくなる」と喜んでもらった。



地元荒垣さんからは4日間にわたりコーヒーやお菓子の差し入れをいただき、蒸し暑さの中心のこもった差し入れに参加者一同元気をもらった。ありがとうございました。



◆特別企画（西中国山地の植物）◆

●出典：もみのき森林公園植物と動物

●著書「ヒドラ会」

●第 74 回 アキグミ（グミ科グミ属）

日当たりの良い原野に群落を作り、よく枝分かかれする低木の落葉樹で、樹高は2-3m程度に成長する。葉は互生し長楕円状披針形、先は尖り、基部はくさび形。

5月に花を付け、この花の色は白から薄黄へ移り変わっていく。秋に朱から赤色の直径8mmほどの実を付ける。ほかのグミ類の果実が楕円形なのに対し、アキグミは球形に近い。

実は食用となるが、タンニンを多く含むため強い渋みを感じさせる。

また、実にトマトの7-17倍のリコペンを含む。

薬効は咳、下痢。



＜事務局からのお知らせ＞

- 次の方から会費（29 年度分）の納入がありました。（敬称略）

【個人会員】

中重 和郎, 富士澤 隆

- 「高齢者いきいき活動ポイント事業」の活動団体として広島市に申請しています。

この事業は、70 歳以上（9 月 1 日現在）の高齢者の社会参加の活動実績に基づき、高齢者にポイントを付与し、1 年間ためポイント数に応じて、その高齢者に奨励金（年最高 1 万円）を支給する制度です。平成 29 年 9 月から開始される予定です。

- 会員の沖田泰夫さんが【キワニス社会公益賞】を受賞されました。おめでとうございます。

7 月 13 日（木）リーガロイヤルホテル広島において、広島キワニスから災害ボランティアとして長期間にわたり支援活動を継続している功績が認められるとともに尊い献身的な奉仕活動の存在を世間に紹介されました。

【主な活動歴】

①新潟県中越沖地震（平成 19 年）

②東日本大震災（平成 23 年）

③広島市豪雨災害（平成 26 年）

④熊本地震（平成 28 年）の災害

…等、全国の被災地に赴き、被災者の要望に基づき

家屋の修繕、土砂撤去、山の木を伐採など行う。

チェーンソー、草刈り機の修繕、バックホウなど

重機の修繕など現地に 1 か月から 3 か月滞在し活動。

息の長い支援を続けることを大切に活動されており、

沖田さんに感謝されている被災者が多くいます。

